

アナログ混載プログラマブルICの登場！

「IOが足りなくなった」、「回路をあと少しだけ追加したい…！」、「部品が入手できなくなった…」など、急な仕様変更や課題により設計変更を余儀なくされた経験はないでしょうか。そんなときに活躍するアナログ混載プログラマブルIC「GreenPAK™」を題材とした、5月30日開催ウェビナのハイライトレポートをお届けします。

1. アナログ混載は難しい？

アナログ混載では、デジタル回路とアナログ回路を一緒に構成しますが、片方だけでも難しい回路を1つにすることは容易ではありません。

また、要求仕様が高度になるにつれて、部品点数の増加、回路の複雑化、筐体の小型要求、開発期間の短縮化といった課題もあり、アナログ混載プログラマブルICが求められています。

2. GreenPAKとは？

GreenPAKは超小型、超短TATのアナログ混載ASICで、ディスクリート部品の集積化やカスタム仕様の作りこみが実現可能です。

< ここがポイント！ >

- ✓ 集積化の差別化
- ✓ PCB実装面積縮小
- ✓ 消費電力低減
- ✓ 必要なデザイン仕様への適応
- ✓ 製品化までの時間を短縮
- ✓ セキュリティ対応

さいごに.

GreenPAKについてもっと知りたい場合は、ルネサスエレクトロニクス製品ページにてご確認可能です。製品ページでは開発に活用可能な資料や紹介動画などを掲載しています。ご相談につきましては、リョーサンまでお問い合わせください。

[GreenPAK™ Programmable Mixed-signal Products](#)

■ 今回の登壇者 ■

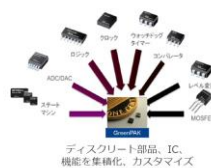
ルネサスエレクトロニクス株式会社
五島 菜々花 氏



コンシューマ・ホームアプライアンス・ヘルスケア分野のマーケティングおよび技術営業に従事。2022年より現職のGreenPAKのFAEを務める。

GreenPAKとは

超小型、超短TATのアナログ混載ASIC → ディスクリート部品の集積化、カスタム仕様の作り込み



- アプリケーション例
- ・監視回路
 - ・システムリセット
 - ・LEDコントロール
 - ・モーター&ファンコントロール
 - ・電源シーケンス
 - ・電圧検知
 - ・周波数検知
 - ・センサインターフェース
 - ・ポート検知
 - ・温度コントロール
 - ・クーロンカウンタ
 - ・その他 お客様固有のデザイン

GreenPAKのアプリケーション例

出所：ルネサスエレクトロニクス様 投影資料より抜粋

他のウェビナはこちらから

リョーサンウェブサイト

